

総合的な学習の時間 「手話体験」

茅ヶ崎市立梅田小学校

単元（題材）目標

○体験的な学習活動を通して福祉について実感を伴った理解を図り，みんなが幸せに過ごすための協力について考えるなど，今後の発展的な学習につなげる。

(1) 実施時期 6月中旬

(2) 対象（学年等・人数）

第4学年 134名 保護者 20名 小学校教員 5名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：4年所属 5名

外部講師：茅ヶ崎市視覚障害者福祉協会 2名

茅ヶ崎誘導グループ草笛 8名

茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団 6名

茅ヶ崎市聴覚障害者協会 4名

手話サークル「松の会」 5名（聴覚障がいのある方，手話通訳の方等）

(4) 実施内容

①講話『視覚障がいについて』『車いすについて』

②アイマスク体験（アイマスク体験とその介助をペアで行う。）

③点字体験（点字の作成と読み取りを体験する。）

④手話体験

- ・ジェスチャーなど身振り手振りによる意思の伝達
- ・手話に関する基本的知識
- ・あいさつや自分の名前など簡単な手話
- ・指文字による五十音の表し方
- ・聴覚障がいによる不便な点や困り感
- ・聴覚障がいの方への適切な接し方や協力のあり方等
- ・積極的なコミュニケーションの大切さ



(5) 成果

体験的な活動を通して障がいのある方の困り感を実感したことで，児童にみんなが幸せに過ごすことができるように協力したいという気持ちが芽生え，その後，意欲的に福祉の学習に取り組むことができた。また，児童の振り返りや感想からも，多くの児童が障がいのあるなしに関らず，積極的に人とかわる大切さを理解し，身近なところから実践していこうと考えている様子が窺えた。その中で，あいさつ程度の手話を覚えるなど，具体的な活動につなげることができた。